

B5用紙

(個人)

(報告：田中正行)

山(山域・ルート) **高妻山** (2,353m) (戸隠連峰)

【日時】 23年 7月12日(水) (夜行) ~ 7月13日(木) (1泊 2日)

【メンバー】

田中正行

(計 1名)

【行動記録】

12日：前夜自宅22時発一(上信越自動車道)一戸隠牧場(1:05)

13日：牧場(4:50)五地藏(7:48)一高妻山(9:58-10:21)一五地藏(12:03)一牧場(14:35)
上り 5時間 下り 4時間15分

【装備・食料等】

携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツェルト

水(2リットル)、食事(朝食、昼食)、行動食

【感想】

梅雨明けを待って、百名山の一つである高妻山に単独で登る。行程が長いので早朝の出発を心がけた。一不動(非難小屋有り)までは、滑滝、帯岩の難所もあったが、鎖、足場もあり、心配なかった。最後の水場である氷清水の水も名前のとおりおいしかった。そこからは、稜線歩きで二釈迦から九勢至の小ピークを越えて、最後の十阿弥陀のある高妻山の登りになる。300mの急登はきつかった。天候は、晴れたり、ガスったりで、途中、雪のある北アルプスも見えたが、山頂では、一度晴れかかったが、展望は期待できなかった。下りは、真夏の日差しの中にあっただ。一不動からは、90分の表示もあり、あと少しと思ったが、渡渉、沢床歩きが多く、疲れた足には堪えた。途中、ニッコウキスゲを初め多くの花に出会えたことも単独行の慰めになった。行程が7時間40分から10時間とガイドブック等によって異なっていたが、9時間15分は妥当なコースタイムかと思われる。

